

第10期淡路地域ビジョン委員会 意見交換結果(8/29)

【各分野で出された意見、キーワード等】

教育・スポーツ

意見、キーワード

分科会の最終目標

●スポーツを通して淡路島を活性化

- ・ 武道に絞らず幅広くスポーツ全体を対象とする。
- ・ 良い場所に立地している淡路島だが、あまり注目されておらず勿体ない。
スポーツ活動・イベント誘致を行い、人の往来を増やし、それにより地域の活性化を目指すとともに、島外からの人を増やす。
- ・ コロナでイベントをしにくい時期であるため、イベントができないことも考慮して、ネット配信などの手も考えておく。
- ・ 武道を通して幸せになってもらいたい。

●マップ作成

- ・ 島内全域のスポーツ施設の状況調査をする。その周辺の宿泊施設を調査し、合宿プランを考える。(武道の大会等のイベント開催も検討)
- ・ 宿泊施設、飲食施設にも相談して実際のプランを作り、各団体に対して提案をして誘致を進める。
- ・ プランには、淡路島のくにうみや武道の歴史を学ぶ時間も設けたい。
- ・ 3市では各市のスポーツ施設にて様々なスポーツを行っているが、結びつきがないので、連携する仕掛けを作る。
- ・ 各市を取り纏めている体育協会がある。

●3市でのイベント実施

- ・ 淡路島が武道の島というのを印象づける。

淡路市：伊弉諾神社での奉納演舞、南あわじ市：亀岡八幡宮での流鏝馬の復活、洲本市：各団体・各武道の大会の誘致（洲本文化体育館）

●弓道場を兼ね備えた道場の設置による、武道の普及活動

地域の活性化

意見、キーワード

地域の活性化に必要となるものについて意見

●稼げる島になる

- ・知恵、仕掛け、淡路島ブランド化が必要となる。

例：島内の就農者は少ないが、農業で稼げるようになれば、農業してみようかと思う若者が増えるのではないか。

●住民自らの力で町を良くするという考え

・行政の力を借りるのも大切だが、自分達で考え、出来ることをやることで生きがいにもなる。

●淡路人の人間性・考え方を変えていく

・現在は排他的になっており、異質なものが受入れられにくくなっている。淡路も変わっていかねばいけない。

●リタイア勢の力を借りて地域の活性化

- ・リタイア勢の受け皿となる組織を作る。

・アワイチの宿泊設備の充実。

・淡路島3市から1市に向けての動き。

農林水産

意見・キーワード

課題

●竹林放棄地の増加

- ・イノシシの住処になってしまっている。
- ・NPO 法人で竹を切って竹炭を農業で利用してほしい。
- ・竹＝重労働という印象があり人手不足。竹細工もやっているが加工する人手が集まらない。

活動内容（案）

●耕作放棄地、竹林保全・有効活用や漁業を1つのストーリー仕立てとして活動し、持続化していくこと。

- ・竹資源の有効活用（農業、燃料、竹細工・オブジェ）として、体験パック（オブジェをつくる、耕作放棄地を使用して菜の花の油を採り、菜の花を加工して商品開発までもっていく等）の計画・実行。
- ・耕作地に菜の花を植えて景観保全。
- ・就学体験（竹、漁、物販）を1日で集約してイベントを開催。
- ・島外発信で人を集め、イベントを持続化していく活動を骨組みで考える。
- ・体験を発信して、島外の人に何を求めるのか（定住、観光他）
- ・企画した活動を地域で根付かせていく。

●淡路島の外に目を向けて関係を築いていく。淡路島に関心をもってもらおう。

●ため池について 農業・漁業とつながりがある。

●洲本市（ミュージアムパーク・アルファビアやポートターミナル）の場所を有効活用し、販売イベントの定期的実施。島外の人やまだ知らない島内の人にも淡路島の農産物を知ってもらおう。

（まとめ）竹細工、農、水産、加工の体験を中心に活動

鳴門海峡の渦潮普及啓発

意見、キーワード

最終目標

●淡路島の渦潮を世界遺産に

- ・淡路島は観光の島である。世界遺産になれば観光客も増加する。

●渦潮学習出前講座の開催の継続

- ・淡路島の子供たちに、渦潮の素晴らしさや世界遺産になって誇らしげに思ってもらえるような活動（出前講座）を今年～来年で実施。
- ・件数は一昨年は少なめ、昨年は多くの学校で実施したが、今年は全く出来ていない。来年を見据えて継続させていきたい。
- ・大コマを渦潮に見立てた PR の実施。

●海岸清掃活動の継続

- ・海岸清掃を3市+鳴門の4ヶ所で同時開催。綺麗にすることで鳴門の渦潮をPRしていく。
- ・今年度の開催日は10月24日（土）

意見、キーワード

国連の国際目標である SDGs を主軸に考えていく

●淡路島ごみ処理施設の統合

- ・淡路島のごみ処理施設 3 つ（夕陽が丘、やまなみ苑、奥畑粗大ごみ処理場）を 1 つに統合して温泉施設などを併設し、人を呼べる（招く）ような施設にする。
- ・エネルギーを活用して、温水利用やテーマパークに。
（夕陽が丘：契約満了、やまなみ苑・奥畑：耐用年数問題）

●山・川などの自然が損なわれている

- ・メダカなどの在来種を見なくなった。管理問題・外来種問題。
- ・竹林の増加
- ・淡路島にはため池が多い。海の豊かさを取り戻そう。
- ・SDGs を念頭に海を守り人をつないでいく。
- ・海水浴場が閉鎖しているので無茶苦茶になってしまっている。
- ・集めたゴミの処分に費用がかかるので対応してほしい。

●ソーラー発電（太陽光）でエネルギーをまかなうのか

- ・淡路島はソーラー発電が多いがこれで良いのか、自然を壊してはいないか。
（休耕田などに設置）
- ・あわじ環境未来島構想の中で進められてきた。淡路島でエネルギーを自己解決できるようにするのが目的なのではないか。

●海岸清掃（全島一斉清掃）活動の実施

- ・プラスチックを減らす取り組みの実施。（紙ストロー利用やレジ袋削減）
- ・掃除を続けてもごみが減らないのが現状であるので、早期解決が必要。
- ・SDGs を日本で推進していくために、まず淡路島で SDGs を推進する。